

—医師、歯科医師、薬剤師の皆さんへ—

血算・生化学検査で 患者の病態がここまでわかる

—信州大学方式の Reversed Clinico-pathological Conference (RCPC) を用いて—

日 時 2020年11月28日(土) 午後5時～

会 場 兵庫県保険医協会 5階会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル/元町駅南へ徒歩8分)

※講師は来場せず現地から Zoom による講演となります。

※会員の先生方には可能な限り Zoom によるオンライン視聴をお願いしておりますが、インターネット環境その他で Zoom 視聴が困難な場合はご来場ください。

講 師 信州大学医学部病態解析診断学 教授 本田孝行 先生

参加費 無 料

Reversed Clinico-pathological Conference (RCPC) では、検査値のみで患者の病態を検討する。臨床で行っていけないことをあえて行う。現病歴および現症などの影響を受けずに、検査値だけで患者の病態を読む。血算、生化学、尿・便および凝固線溶検査のルーチン検査は頻回に行われるが、臨床で十分に活用されていない。異常値の出るメカニズムを十分に理解してルーチン検査を解釈すれば、患者の病態を驚くほど詳細に把握できる。比較的安価なルーチン検査を経時的に行うことで、患者の状態をリアルタイムに判断できる。RCPCは患者の病態を捉えることが目的で、診断する手段ではない。ただ、病態が正確に把握できれば診断できることも多い。今回の講演では、信州大学方式の検査値の読み方を解説し、1症例の時系列ルーチン検査データを解釈する。信州大学では、“身体所見をとるようにルーチン検査を読もう”と話してから、学生の講義を始める。 【本田 記】

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840 まで

【Zoom視聴の申し込み ※会員のみ】 kusunoki@doc-net.or.jp

メールの件名を「11月診内研 Zoom 視聴」にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号—を記載の上、研究会前日までに上記アドレスへ送信して下さい。案内メールを返信します。

【来場参加の申し込み ※Zoom 視聴が困難な方等】 fax 078-393-1820

市区名 _____ 医療機関名 _____

お名前 _____ 職種 _____ Tel _____ Fax _____